

## 【速報 13】イスラエル・ガザ人道危機：パレスチナ赤、ガザ北部の病院から 31 人の乳児を搬送

ガザ北部、パレスチナ保健省が管轄するアルシーファ病院は水や燃料、医療資材といったあらゆる物資が不足していたため、そこに取り残されていた乳児 31 人は生命の危機に瀕していました。

パレスチナ赤新月社（以下、パレスチナ赤）は 11 月 19 日、WHO（世界保健機関）と OCHA（国連人道問題調整事務所）と協力し、南部へ 31 人の乳児を搬送させることができました。ガザ北部への攻撃が続く中の危険を伴う搬送を、パレスチナ赤の救急車 6 台が担い、11 月 20 日には、そのうち特に治療を必要とする 28 人の乳児をガザ南部の病院からラファ検問所を通じてエジプトに搬送、残りの 3 名は健康状態を確認し、ガザ域内の病院にとどまることになりました。



乳児を搬送するパレスチナ赤の救急救命スタッフ©PRCS



乳児に付き添うパレスチナ赤の救急救命スタッフ©PRCS



乳児を搬送するパレスチナ赤の救急車©PRCS

パレスチナ赤はガザ地区に 39 台の救急車を所有していましたが、現在稼働しているのは 16 台で、23 台は攻撃などの影響で使用が難しい状態になっています。命の危機にある人びとの元に真っ先に駆け付け、確実に医療機関での治療に結び付けるため、救急車はなくてはならない存在です。

戦時のルールである[国際人道法](#)において、医療機関・救急車・医療従事者は明確に保護の対象となっています。

日本赤十字社は引き続き国際赤十字と連携して国際人道法の遵守を紛争当事者へ強く要請し、人道的な配慮と基本原則の尊重を求めています。

みなさまの温かいご支援をよろしくお願い致します。

日本赤十字社は Instagram や X でも国際活動について発信を続けています。

Instagramはこちら→



Xはこちら→



### 「イスラエル・ガザ人道危機救援金」

受付期間： 2023 年 10 月 17 日（火）～2024 年 1 月 31 日（水）

用途： 赤十字国際委員会（ICRC）、国際赤十字・赤新月社連盟、イスラエル・ダビデの赤盾社、パレスチナ赤新月社、日本赤十字社が行う救援・復興支援活動等に使用されます。\* 周辺国等に人道危機が波及した場合には、その対応を含む。

イスラエル・ガザ人道危機救援金へのご寄付はこちら

